

環境保全林の管理と郷土樹種による環境修復

事業会社	CENIBRA
実施場所	ブラジル・ミナスジェライス州
連携・協働相手	-
Website	ENVIRONMENTAL RECOVERY
キーワード	環境保全林、環境影響の低減、郷土樹種による環境修復

活動概要

CENIBRAでは、25万haの社有地を管理しており、うち約42%にあたる、10.6万haを環境保全林と定めています。環境保全林は、ブラジルの森林法に従い、同社山林内に4,500以上存在する水源地周辺や元々自然林であった場所など、生物多様性の保全と生態系サービスの維持を目的として設定しています。同社の植林事業では、生産林と環境保全林をバランスよく配置する、モザイク植栽を基本としており、事業による生態系の分断の影響を最小限に抑え、生物防除など生態系の機能を活用する森林経営を行っております。

また、環境保全林内で土壌侵食や野火等により、自然林が被害を受けたり、新規に取得した土地で自然林復元が必要な場合は、土壌回復や自生の樹種である *Nectandra oppositifolia* (クスノキ科)・*Cedrela fissilis* (センダン科) 等、郷土樹種の苗木植栽を行い、環境の回復（自然林の再生・復元）を図っています。植栽後は、回復状況をモニタリングし、環境保全林の適切な維持管理を実施しています。

郷土樹種植栽

年度	植栽面積 (ha)	苗木 (本)
2021	348	133,105
2022	105	61,599
2023	53	27,480



ブラジル/CENIBRA社 生産林(左側)と環境保全林(右側)